

令和7年9月1日発行

かみすながわ

議会だより

令和7年 第2回定例会

第33号

発行 上砂川町議会

編集 議会活性化特別委員会

電話 0125-62-2880

北海道町村議会議員研修会



掲載内容

*主な議会政務報告	2 P
*一般質問と答弁内容（要旨）	3 P
*行政常任委員会報告	4 P
*議員研修レポート	4 P
*町内行事参加報告	5 P

主な議会政務報告について

令和7年6月以降～

年月日	会 議 行 事 名	場 所	出 席 者
R7 6	5 議会運営委員会	役場	全委員・議長
	6 上砂川商工会議所第72回通常議員総会及び第43回青年部定期総会	町内	議長
	8 滝川駐屯地創立70周年・第10即応機動連隊改編6周年記念行事	滝川市	議長
	10 北海道町村議会議長会第76回定期総会	札幌市	議長
	15 令和7年上砂川消防演習	上砂川支署	議長他
	18～ 20 第2回上砂川町議会定例会	議事堂	全議員
	18 議会運営委員会	役場	全委員・議長
	19 行政常任委員会	役場	全委員・議長
	22 鶉神社祭典	鶉神社	議長
	第71回北海道消防協会空知地方支部中空知分会連合消防演習	赤平市	議長
	24 上砂川町社会福祉協議会懇親会	町民センター	議長
	25 石狩川流域下水道組合議会第1回臨時会	滝川市	議長
	27 戦没者追悼式	町民センター	議長他3名
7	4 中空知町議会議員親睦交流会	砂川市	議長他5名
	8 北海道町村議会議長会議員研修会	札幌市	全議員
	15 第5回上砂川町議会臨時会	議事堂	全議員
	行政常任委員会	役場	全委員・議長
	16 空知町村議会議長会議員研修会	妹背牛町	全議員
	22 夏の交通安全運動（旗の波）	町内	議長
	23 中空知ふるさと市町村圏議員研修会	新十津川町・赤平市	全議員
	25 社協・日赤『たすけあいビールパーティー』 滝川駐屯地修親会・滝川自衛隊協力会合同送別会	町民センター 滝川市	議長 議長
8 4～ 6	中央要望実行運動	東京都	議長
	6 「核兵器の廃絶と世界恒久の平和を願う」上砂川町の集い	平和の塔	副議長他6名
	無縁物故者供養式	無縁の塔	副議長他6名
	炭鉱殉職者慰霊追悼式	炭鉱殉職者慰霊の碑	副議長他6名
	13 上砂川商工会議所「第23回仮装盆踊り花火大会」	町内	議長他
	19 北海道町村議会議長会議会広報研修会	札幌市	伊藤議員 石田議員
	21 各町自治会交流会	町民センター	議長
	26 空知中部広域連合議会第2回定例会	奈井江町	議長・伊藤議員
	29 上砂川神社例大祭	上砂川神社	議長
	31 砂川青年会議所創立65周年記念式典	砂川市	議長

一般質問

(質問者順)

議席番号3番

笹木 笑子 議員



質問要旨

ふるさと納税の促進と返礼品について

一次産業のない本町において返礼品については、事業所・企業頼みの感がある。特色ある返礼品の開発から、納税の促進のみならず交流人口の増などまちづくりにつながるかと考える。一案として

① 体験型返礼品として本町のイベント、施設、人材(地域おこし協力隊)の活用や

マラニックの参加などの体験にパンケの湯の入浴券・宿泊券をプラスすることにより、交流人口、関係人口の増に繋がるのでは。

② 故郷の親への家事代行サービスとして、墓掃除、除雪、草刈りなどは、高齢になっても住み続けられる町づくりを目指す本町ならではのサービスとして、高齢者の方々、遠くにいる家族にとっても有用なサービスと考える。

③ 「寄付金活用の見える化」を図り、一般寄付も含めた「ふるさと基金」の使い道を町民にもわかりやすく伝えることで、町の取り組みを伝えるツールとなり、納税者にとって自分の寄付が町政に反映されている実感ができ納税の促進に有効と考える。体験型返礼品の提案も含め、今後も見据えた「ふるさと納税の促進」について、町の考えを伺う。

答弁要旨

返礼品は地場産品であるチーズやニジマスの燻製などに加え、新たにジャム製品を追加するなど町内事業者への支援・調整を図りながら返礼品数の拡大に努めるとともに、インターネットを介した納税ポータルサイトの運用開始により納税件数、納税金額ともに年々増加傾向である。

① 体験型返礼品については、利用料無料の施設が多いこと、人材の活用は、例えば地域おこし協力隊員の活動が考えられるが、現在、町民向けの無料体験や教育講座等を中心に組み組んでいることから、寄付金額の設定やスケジュール調整が必要であること、イベントにおいては各実行委員会での事前集約や当日対応等が不可欠であり体験型返礼品の活用への課題は非常に多い現状にある。しかし、既にパンケの湯宿泊券を返礼品として活用しており、それに組み合わせるサービスの提供やその他体験型返礼品について町内事業所や

個人事業主など、また条件が整えば地域おこし協力隊も含め発案を受けた際には、支援を図りたいと考える。

② 高齢者向けの家事代行サービスは、想定される現地確認、寄付額の範囲で行える作業内容の確認、作業規模・環境・危険性の把握、日程調整、現状と完了後の比較といった業務に加え、各々のニーズに対して的確で迅速な対応が求められ、人材の育成だけでは対応できなく、専門的な技術をもつ事業者が求められ、人手の確保を考慮すると難しい状況と考える。

③ 寄付金活用の見える化は、納税件数や納税額、上砂川町がんばる基金への積立及び使途状況をホームページにより公表、あわせて納税者に対する周知と予算特別委員会等の中で町議会に対する説明をしている。今後、多額の納税・寄付をいただいた方には、本人のご意思にもよるが、町広報誌等での公表を検討したい。ふるさと納税は地方創生の観点から本来の制度趣旨や理念に沿うよう、工夫しながら

ルールに沿った形で今後も一層の促進を図り、一般財源として恒常的に確保できるよう努める。

行政常任委員会報告

○6月19日(木)に第2回定例会の行政常任委員会を開催しました。提出された議案についての調査と説明を求めました。

各種事業の遂行状況、振興公社の運営等について活発に質疑が行われました。

○7月15日(火)全理事者と全議員による整備事業について、行事の見直しに関する報告、質疑が行われました。

(笹木 笑子)



議員研修レポート

中空知町議会議員

親睦交流会

7月4日、上砂川、奈井江、新十津川、浦臼、雨竜と中空知5町の議員交流会がありました。

コロナで開催を見送った年もありましたが、毎年、午後からパークゴルフを行い、夜は交流会という流れで行っています。しかしコロナ明け以降、毎年雨にたたられパークゴルフが中止になっていきます。そして、今年も雨のためパークゴルフが中止となりました。

前回開催の6年前、上砂川チームが間違って優勝してしまっただけで、以来開催がないそうです。したがって持ち回りの優勝トロフィーは今年も上砂川が保持することとなりました。

交流会では他町の議員との交流はもちろん意見交換ができ、とても勉強になりました。今後の議員活動に役立てていきたいと考えています。

(記 藏根 高史)

北海道町村議会議員研修会

7月8日札幌コンベンションセンターにて、全道より1400名余りの町村議会議員が参加して全道議員研修会が開催されました。

第一部は、西南学院大学の勢一智子教授による「地方議会における議員の多彩化に向けて、地域社会の『鏡』としての議会を考える」

第二部は、人口戦略会議副議長増田寛也氏による「人口減少社会を生き抜くために」についての講演を拝聴しました。

議員のなり手不足問題、地方の人口減少問題等、喫緊の課題について具体的な事例を挙げながら分かりやすく、大変興味深い講演を聞くことが出来、勉強になりました。

(記 吉川 洋)



勢一智子氏



増田寛也氏



空知町村議会議長会

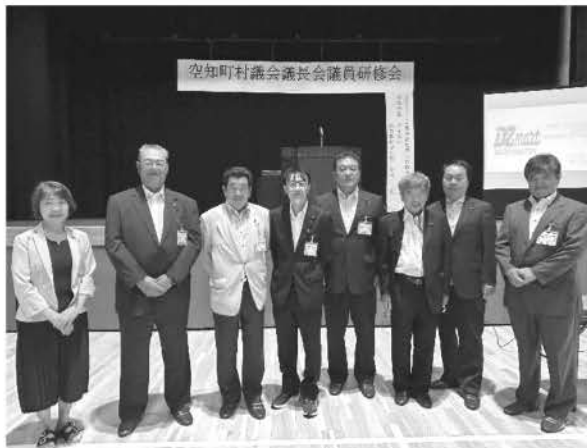
議員研修会

7月16日、妹背牛町にて約170名の各町議員が研修しました。小型ディスカウントスーパー「DZマート」を運営する『ダイゼン』の柴田貢社長による講演はセルフレジ、AIによる自動発注システムの導入等、日本一低い店舗オペレーションコスト企業を目指し（現在全国6位）低コストでの運営、従業員の満足度向上などの取り組みが紹介された。

みずほ銀行旭川支店の「公設民営によるスーパーの outlet」や「ライドシェア」についての事例紹介も興味深い内容であった。いずれも、業者と自治体の双方にメリットある形での運営を目指している。

人手不足・従業員の離職・買い物難民・交通弱者など現在の地方の課題の解決に多くの示唆を得られた研修会であった。

（記 笹木 笑子）



柴田 貢 氏

中空知ふるさと市町村圏

議員交流会

7月23日、新十津川町総合福祉センターで開催された中空知ふるさと市町村圏議員講演会に参加しました。studio-L代表、山崎亮氏による講演は「人がつながるしくみをつくるコミュニティデザイン」でした。

町民主体による住民参加型ワークショップの手法や成果が紹介され、行政任せではない自発的な地域づくりの姿勢に大きな刺激と感銘を受けました。

（記 石田 浩二）

山崎 亮 氏



町内行事参加報告

上砂川中学校体育祭

5月30日、上砂川中学校にて体育祭が開催されました。

生徒さん皆一様に真剣に、そして楽しそうに各競技に参加されており、躍動感あふれるその姿に感動した次第です。

また、保護者の皆様もグラウンド内で自身のお子様を一生懸命応援されており、応援される生徒さんは何処か恥ずかしそうなのでも嬉しそうにしていたのを微笑ましく思いました。

私も上砂川中学校の出身者で御座いますが、思い返すに私の頃は体育祭ではなくて陸上記録会で、保護者もおらずお楽しみ要素も全くなく唯々ひたすら100m走、走り高跳び、幅跳び、砲丸投げ、マラソン等の競技をこなすだけの味気ないものでしたので今の生徒さんがとても羨ましく思えました。

（記 伊藤 充章）



上砂川中央小学校

なかよし大運動会

去る5月31日に中央小学校でなかよし大運動会が開催されました。

初めての運動会の一年生、最後の運動会の六年生をはじめ、皆、緊張の趣で整列、準備体操が始まりました。グラウンドの回りでは、お爺ちゃん、お婆ちゃん、お父さん、お母さんも応援態勢も整いプログラムのスタートを待っています。楽しい運動会になるよう、私もしっかり応援さ

せてもらいました。

自身の子どもの時の運動会の思い出は、ほとんどありません。ただ思い出すのは、お昼に皆で食べたのり巻きのおいしかったイコール運動会のような気がします。

運動会の今日は、365分の1日で終わりますが、思い出は何十年も続きます。今日一日、子供たちの良い思い出になりますよう力一杯、応援しました。

(記 小澤 一文)



上砂川消防演習

6月15日、上砂川消防支署において消防演習が開催されました。

私は消防団員でありますので、例年同様に来賓としてではなく団員として演習に参加しました。が、議会や警察、自衛隊等多数のご来賓と、見学して頂いた町の方々が見守る中、行われました。今年の演習は目玉の一つとして、日頃役場の職員でありながら消防団員としても頑張っている団員をメインに据えた

隊員で構成されたポンプ車操法を披露しました。

訓練期間中は皆一様に真剣に、遅い時間まで訓練に取り組んだ成果を存分に発揮したとても素晴らしい演技でありました。その隊員を選出して訓練の責任者を務めさせて頂いた私は、訓練中遅くまで頑張つて耐えてくれた隊員の苦勞を思い返し涙が溢れると同時に消防団員としてステツプアップしたその姿をととても嬉しく思つた次第です。

また今回の演習が終わつた後、体験コーナーとして人体に無害な煙を使用したテントにて煙に巻かれるとどうなるのかを体験できるブースや、お子様用と大人用の防火服を用意して実際に着用できるコーナーが設けられ、ご見学頂いた皆様に楽しんで頂きました。

演習は自分が町の皆様の生命と財産を守る消防団員であると改めて自覚すると共に、その使命を全うすべく今後も精進していく事を決意する貴重な機会となりました。

(記 伊藤 充章)

上砂川町戦没者追悼式

初夏のすがすがしい風を感じ
る6月27日、上砂川町戦没者追
悼式が執り行われました。

戦後80年を経て、戦争を体験
された方や、遺族の方も少なく
なり、参列された方は十数名程
となりました。これも平和が当
たり前になった現代日本、仕方
のない事ではないでしょうか。

「日本の今日の平和と繁栄は、
戦争によつてかけがえのない命
を落とされた方々の尊い犠牲の
上に築かれたものであることを
決して忘れてはいけない」戦没
者追悼式でよく用いられる言葉
です。まさにそのとおりであり
悲惨な戦争の記憶を風化させる
ことなく、恒久的な平和のため
に、この言葉を後世に伝えてい
かなければならないと強く感じ
ました。

(記 藏根 高史)



社協・日赤たすけあい

チャリティーパーティー

毎年恒例の社協・日赤たすけ
あいチャリティーパーティーが、
7月25日、町民センターで開催
しました。

社協の皆さんは、早くから準
備に大忙しで、会場の設営に段
取りにと大粒の汗を流しておら
れました。皆さん本当にお疲れ
様でした。

当日は、朝から暑い・暑い一日
で、会場で飲むビールは格別の
味です。大勢の参加者とたくさ
んの景品で、会場は大盛り上が

りです。ご多用の中、駆けつけて
くださった多くの社協応援団？
の皆様。こうして皆様のおかげ
で、今年も無事に、安定の大成功
のチャリティーパーティーと
なりました。

ご参加いただきました皆様、
大変に有り難うございました。
また、奥山町長はじめ職員の
皆様、関係者の皆様に厚く御礼
申し上げます。

(記 小澤 一文)

核兵器廃絶と世界恒久平和 を願う上砂川町の集い

8月6日、上砂川町役場庁舎
駐車場で行われた「核兵器の廃
絶と世界恒久の平和を願う集い」
に参加しました。

非核平和の町宣言が朗読され、
参加者一人ひとりが平和への思
いを深めました。

被爆国の町としての責任を再
認識し、今後も戦争のない社会
の実現を目指し、平和の尊さを
語り継いでいくことを心に誓い
ました。

(記 石田 浩二)



無縁物故者供養式・

炭鉱殉職者慰霊追悼式

8月7日、それぞれの慰霊式が執り行われました。

町長の式辞、議長（副議長代読）の供養、追悼の辞が述べられました。

誰からも看取られることなく旅立った、上砂川に縁がある方々の供養と、今日の町の発展、基盤の確立に貢献された炭鉱事故などで亡くなられた方々の功績に改めて感謝し、更なる発展を議員一同で決意させて頂きました。

（記 笹木 笑子）



編集後記

今年も暑い・暑い夏。この7月に熱中症警戒アラートが北海道に発令。また、台風が初めて北海道に上陸したこと等、異常な気候が続いていますが、負けずに夏を乗り越えて行きたい。

さて、私も高齢者（前期）の間入り。これを機に新たな挑戦をと思い、4月から交通安全奉仕員をさせていただいています。朝、子供たちと交わす挨拶は、実に気持ちがいいものです。今日も元気に頑張れとエールをくれます。

脳内科医の加藤俊徳氏は、「新たな挑戦は、脳にとって最高の栄養素になる」と話をされていました。そこで何か、地域に貢献できればと思い、挑戦する運びとなりました。

これからも暑さ・寒さに負けず、元気に朗らかに今日も挑戦の一步を踏み出して参ります。

（記 小澤 一文）

交通安全



議会広報誌の編集委員

伊藤 充章・笹木 笑子
藏根 高史・石田 浩二

※日頃この様に編集しています。



令和7年第3回上砂川町議会定例会を傍聴しませんか？

本会議は、簡単な手続きで自由に傍聴することができます。町議会の活動などを知るよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

※日程は変更となることがあります。

○議 会 日 程：9月9日（火）～11日（木）

○傍聴可能日：9日・11日